

神戸国際大付 甲子園へ

高校野球、4年ぶり3度目

優勝を決め、マウンドに駆け寄る神戸国際大付ナイン＝ほっとも
っとフィールド神戸(撮影・小林良多)

▽決勝

関学

011	010	000	0
013	030	00×	7
			3

第103回全国高校野球選手権兵庫大会最終日は29日、神戸市須磨区のほっともっとフィールド神戸で決勝があり、神戸国際大付が7―3で関学に勝って、4年ぶり3度目の栄冠に輝いた。神戸国際大付は8月9日に甲子園球場(西宮市)で開幕する全国選手権大会に兵庫代表として出場する。

昨夏は新型コロナウイルスの影響で兵庫大会、全国選手権大会とも中止され、開催は2年ぶり。今春の選抜大会に続き、2季連続の甲子園を目指す神戸国際大付は三回、武本琉聖一塁手の3点本塁打で逆転し、五回には西川侑志主将の2点本塁打などで突き放した。

全国選手権大会の組み合わせ抽選会は、8月3日にオンライン形式で開かれる。